

胃癌患者の術前骨格筋量が治療成績に与える影響の男女間の相違に関する後ろ向き探索研究

1. 研究の対象

2007年1月～2015年12月に当院で胃癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

2007年1月から2015年12月の期間に大阪市立総合医療センターで組織学的に胃癌と診断され、胃切除を行った20歳以上の患者を対象とします。術前CT検査の第3腰椎レベルの骨格筋面積を画像解析システム(Synapse Vincent, Fujifilm)で計測し、男女それぞれについて、骨格筋面積の大きい患者群と小さい患者群に分けて、両群の臨床病理学的背景を比較します。5年生存をアウトカムにして男女それぞれについて、予後不良因子を単変量解析、多変量解析を用いて同定し、性別間の違いを検討します。研究期間は臨床研究倫理委員会承認後～西暦2022年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術前 CT 画像、術式、腫瘍深達度、リンパ節転移、ステージ、術後合併症、術後生存期間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒534-0021

大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221 (代表)

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

消化器外科 櫻井 克宣